



「豊岡ノーマイカーデー」の実施結果

市民みんなで取り組む環境行動として「豊岡ノーマイカーデー」を実施したので、その結果を報告する。

1 実施日

平成24年6月27日(水)

2 参加事業所数

32事業所 別紙1参照

3 参加人数

523人 別紙1参照

4 当日乗込者数の比較

全但バス... 117.5% (2,429人 2,854人)

平成24年3月、6月の乗り込み調査平均数値との比較

JR ... 150.4% (142人 214人)

平成24年6月の毎週水曜日の乗り込み調査平均値との比較

各駅から豊岡駅で降車された方の切符を回収しカウント

5 転換距離

10,220km 豊岡 - 東京間7.5往復の距離

マイカーから徒歩や公共交通機関に転換した距離で、ノーマイカーデー参加者の往復移動距離から試算

6 CO2削減量

2,324kg 杉の木約166本分が1年間に吸収するCO2量

約180世帯が1日に排出するCO2量

CO2削減量(kg) = 転換距離(km) ÷ 10.2(km/L。2009年度ガソリン乗用車実走行平均燃費) × 2.32(kg-CO2/L。ガソリンCO2排出係数)から算出

7 全但バス1日フリー乗車券の販売実績

221枚

8 アンケート調査結果について(概要) 別紙2参照

住所...半数が豊岡地域

勤務先...3/4が豊岡地域

片道の通勤距離...6キロ以下が半数、8割が15キロ以下

利用した交通機関...自転車が3割で最多

マイカー利用時の所要時間...1~10分、11分~20分が共に3割。30分以下が8割。

ノーマイカーデーの参加時間...30分以下が半数強



移動時間の変化...1～10分増が4割、11分～20分増が3割

ノーマイカーデーを何で知ったか...会社の案内が7割

参加のきっかけ...会社の取り組みが半数。環境への配慮が2割。公共交通の利用促進は1割強に留まる

車の使い方のきっかけになったか...多少なりとも「きっかけになったが」8割、「全くなならない」は2割弱。

今後、エコ通勤を続けるか...e通勤を考えるが1割5分、週1～2回なら取り組めるが2割、月1回程度なら2割5分。取り組みが難しいは2割。

エコ通勤を続けるなら何を利用する...徒歩が2割、自転車が3割5分

エコ通勤を続けていくための対策...公共交通全般の対策が圧倒的に多い。自転車、歩行者の対策、天候による等の意見も多い。

自由意見（抜粋）

- ・1年に1回ぐらいだとほとんど効果がないので、月1回ぐらいのペースで啓発が必要ではないか。
- ・自転車道並びに歩道の整備をして欲しい。通勤時自動車が狭い道を抜け道として走行するため、非常に危険(特に雨天時)。
- ・豊岡エコポイントで自転車や通勤時にもつかえる運動靴などを景品や対象商品にすればよいのではないか。
- ・新鮮な気分で通勤できた。
- ・毎日はきついが、1カ月に1回なら参加しようと思う人が多いと思う。ノーマイカーデーはとっても気軽に出来ていいと思った。
- ・バスに合う時間・路線があり、500円でどこでも行けるのなら、バス通勤をしたいと感じた。
- ・会社への通勤届が自家用車で、通勤経路も記入するようになっており、万が一の場合の労災が適用されるかどうかは疑問に思う。
- ・公共交通機関が便利になると、地球温暖化防止に少しつながっていくと思う。
- ・通勤方法を変えるのは難しくても、近くのコンビニや銀行に行くときは車を使わない程度のことではできると思う。
- ・ノーマイカーデーをすることにより残業を減らすことができる。また、飲み会の回数も増えると思われる。
- ・朝からいい運動になった。健康のためにも、今後もエコ通勤できればと思った。

9 今後の予定

今回の結果を踏まえ、本年10月から毎月1回定期的なノーマイカーデーを実施する(実施日等の内容は9月中旬に公表予定)。